

第5回南砺市協働のまちづくり推進会議 次第

平成30年8月22日（水）午後7時～

井波コミュニティプラザ「アスモ」2階 大ホール

開 会

1. 委員長あいさつ

2. 付議事項

(1) 専門部会の名称及び活動内容の変更に関する承認について

変更前 「市民会議との連動部会」

変更後 「小規模多機能自治への検討部会」

活動内容 今後のまちづくりの手法として小規模多機能自治がうまく回るよう提言や見守り、調査、検討を行う予定（運営委員会で決めていく方針）
※部会委員についても、追加加入や脱退について再度希望をとる。

(2) 小提言に関する承認について

①人材バンク（人材活用リスト）の活用に関する提言

目 的：これまでに市で行ってきた各種人材育成事業受講者、各種委員会公募委員等のリストを作成し、自治振興会へ配布し、まちづくりのスタッフとして活用を促すとともに、受講者等にもまちづくりに積極的に関わるよう促すことを目的とする。
※受講者にはリストに掲載してよいか承認を得ることが必要

②現在の自治振興会の人口単位による分割・統合

目 的：振興会によっては人口が二千人の地域と五百人の地域といったように人口規模に違いがありすぎる。多すぎる場合は適正な規模（一千人未満）に分割することも考えた方がよいのではないか。その逆も然り。

3. その他

閉 会

会 議 録

1 会議名	南砺市協働のまちづくり推進会議 第4回運営委員会
2 議題（公開）	1. 専門部会「市民会議との連動部会」の名称変更及び活動内容について 2. 小提言（人材活用リストに関する提言書）に関する承認について
3 開催日時	平成30年7月25日（水） 開会時間：午後7時／閉会時間：午後8時45分
4 開催場所	協働のまちづくり支援センター 会議室
5 会議出席者	[委員：出席5名／全7名] ※50音順 磯辺文雄、江田 攻、長田正勝、名村桂子、林 則雄 ※欠席委員 俵 圭子、能登貴史 [市：出席2名] 事務局 南砺で暮らしません 協働のまちづくり係長 石本 裕 " " 副主幹 中島千帆
6 決定事項	○専門部会「市民会議との連動部会」の名称再変更 「市民会議との連動部会」は、「 小規模多機能自治への検討部会 」に名称を改めて変更し、この部会がどのように活動するかは運営委員会にて検討する。 また、部会委員についても追加加入について委員に希望調査する。 ○小提言に関する承認について 小提言については、9月に予定し、次の2点について行う。 (1) 人材バンク作成及び活用について ①市の委員会や講座・研修等に参加した人材バンク ②アドバイザー（一般公募） (2) 小規模多機能自治の運用規模適正化について 組織の巨大さがまちづくりが進まない原因である。末端まで情報が届かないまま、上のほうで決められてしまっている現状。 適正規模の見直しについて考える必要あり。 第5回協働のまちづくり推進会議 日時 平成30年8月22日（水）午後7時～ 場所 井波コミュニティプラザアスモ2階 会議室 提案事項 ①部会名称の再度訂正及び活動内容の了解 ②小提言 (1) 人材活用バンク作成について (2) 小規模多機能自治の運用規模適正化について

(案)

平成30年 月 日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市協働のまちづくり推進会議

委員長 林 則 雄

提 言 書

平成24年7月に施行された南砺市まちづくり基本条例は、わたしたちが、このまちに「生まれてきてよかった」、「住んでいてよかった」、「これからも住み続けたい」と思えるまちになることを願い、市民が主体のまちづくりが進められるよう定められたものである。

南砺市では、平成21年度より“住民自治”“地域内分権”を重視し、協働のまちづくりを推進し、31地区への使途自由な地域づくり交付金や、市職員による地域づくり支援員を配置し、魅力あるまちづくりや課題解決に取り組んできた。

その後、南砺市自治振興会連合会の意向、および全国的な小規模多機能自治の理念の普及により、平成31年4月から全地区での小規模多機能自治への移行を目指すこととなり、現在、その手法を学び、周知や検討を重ねている。

小規模多機能自治のスタートまで1年を切り、当推進会議では、南砺市型小規模多機能自治市民会議の市長提言や「地域づくり・支え合いの福祉 まるごと意見交換会」の開催状況を確認し検討してきた結果、地域においてまだまだ協働に対する意識に差があり、全体的に底上げが必要であることが感じられた。

そこで、今回推進会議として以下のとおり提言する。

市長におかれましては、本提言を踏まえ、協働のまちづくりの更なる推進に努められたい。

(案)

■提言

1. 「まちづくり人材バンク」の作成及び活用について

これまで、南砺市では、若い世代のリーダー養成講座「七転び八起き塾」、熟年まちづくりリーダー養成講座「五十の手習い塾」をはじめ、地域医療・地域活性化のための養成講座「地域医療・地域活性化マイスター養成講座」等、様々な分野の講座や研修を開催してきており、その受講生は相当数にのぼると推察される。

また、市の養成講座は受講されていないが、個々に活動している市民や、まちづくりに協力できるという一般市民（アドバイザー）を広く公募し、人材バンクに登録することも考えられる。

残念なことに各地域の自治振興会等住民自治組織では、誰がどのような講座を受講したのか、さらには、自分たちの地域にはどのような人材がいるのかわからないのが現状であると考えられる。

そこで、協働のまちづくりをより一層推進するため、各種養成講座受講者やアドバイザーをまとめた「まちづくり人材バンク」を作成し、各自治振興会へ情報提供をすることを提案する。まちづくりに興味のある市民や、市の育成した人材をまちづくりに参画させることで、今後の小規模多機能自治の手法を用いた住民自治を進める上で活用されるよう求めたい。

2. 小規模多機能自治の運用規模適正化について

南砺市では、平成29年度に各自治振興会をまわり、「地域づくり勉強会」を開催してきた。しかし、参加者が区長や団体の役員等で占められており、一般市民、特に若い世代や女性の参加が少なかったように感じられた。

市内の自治振興会については、旧小学校区単位で組織されているが、最小で約130世帯、最大で1,700世帯と10倍以上の差がある。

組織が大きければ大きいほど、地域住民まで情報が届かないまま、既存組織の役員主体での決めごとになりがちである。地域づくり勉強会がその例であり、地元住民は開催されたことすら知らないといった意見も聞かれた。

まちづくりの基本原則は、市民が主体となって進められるものとされており、情報がきちんと伝わり、市民の意見がきちんと届けられることが重要なことであり、小規模多機能自治のスタートにあたり、適正規模の見直しについて再考を求めたい。

協働のまちづくり推進会議 平成30年度の活動内容

会議名	開催日	内容
第4回推進会議	6/26	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会の進捗状況について ・専門部会「市民会議との連動部会」の名称変更について ・小提言に関する承認について(人材活用リストに関する提言書)
第5回推進会議	8/22	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会「市民会議との連動部会」名称変更及び活動内容の変更について ・小提言(人材活用リストに関する提言書)に関する承認について
第3回運営委員会	5/8	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会「市民会議との連動部会」名称変更及び活動内容の変更について ・小提言(人材活用リストに関する提言書)に関する承認について
第4回運営委員会	7/25	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の設置について ・推進会議への提案について
専門部会①		<ul style="list-style-type: none"> ・広報なんと6月号原稿作成、掲載
専門部会②	4/9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり勉強会について ・今年度の部会の計画について
専門部会③	4/23	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の日程について(5団体) ・内容について(ポケット版の配布、スライド作成)
	5/11	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の開催について ・協力団体(5団体)へ依頼
	6/5	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の内容、進め方について ・今後のスケジュール(女性議会、こども議会)
専門部会④		<ul style="list-style-type: none"> ・他の部会との分担調整、推進会議での発表内容の精査

専門部会 ①広報部会、②市民会議との連動部会、③市民との情報共有部会、④まちづくり基本条例の検証部会